

京京
京都
次傳市市
代統のの
とと自学
自文指校
ら化す教
のを子育
未受どの
来けも重
を継像点
創ぎ、
創造する
子ども」

令和4年度 山ノ内学校 学校教育グランドデザイン

学校教育目標

自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成

～自分意識をもって行動し、よりよい未来の創り手を育てる教育の創造～

めざす子ども像（くすのき）

- くじけず、しなやかな子ども
- のんびりと、共に活動する子ども
- すすんで学ぶ子ども
- きまりを守る子ども

めざす教職員像

すべての児童が学びやすい学校を作り、すべての教職員で働きやすい学校を作る

- 多様な児童の成長を認める教職員
- 児童の見本となる教職員
- これからの学校教育を創造する教職員
- すべての児童の確かな学びに寄り添う教職員

本年度の山ノ内小学校の目指す学校像

「とらわれない」「おそれない」「あきらめない」持続可能という視点から考える学校システムの刷新

- 子どもにとって、毎日行きたくなる学校
- 保護者にとって通わせたくなる学校
- 地域にとって、応援したくなる学校
- 教職員にとって働きたくなる学校

授業のユニバーサルデザイン化をめざす ICT機器の活用

- ・多様な児童の学びを保障する授業のUD化
- ・授業のUD化を通して視覚化、焦点化、共有化した授業の実践
- ・UD化の視点を取り入れたGIGA端末を活用した授業の展開
- ・授業改善とカリキュラムマネジメントの一体化
- ・ICTを活用した校務の効率化

生徒指導の三機能を意識した すべての子どもに居場所と役割のある授業

- ・子どもの主体的な学びのために、教職員は我慢して待ち、見守る。
- ・誰一人取り残さない学校・学年・学級づくり
- ・自己決定のある日々の授業づくり
- ・子どもの自己存在感を大切にする心の育成
- ・共感的な人間関係に支えられる仲間づくり
- ・子どもの心に届く指導の徹底

多様性を認める 新しい学校・学年・学級づくり

- ・多様な児童の違いを認める学校体制
- ・支援の必要な児童に対する確かな手立て
- ・多様な働き方を許容する学校文化の創造
- ・共通理解を超えた共通実践
- ・大胆に改革して、頑固に守り、持続可能な学校教育改革につなげる